

販売ライセンスについて

個別ライセンス制商品販売ガイド

制作・著作

『テムジン』

<http://www.temjin.biz/>

目次

1. 個別ライセンス制度	3
(1-1) 個別ライセンス制商品とは?	3
(1-2) ライセンス証、ライセンスキット (LK) とは?	6
(1-3) ライセンス取得によって「できること」「できないこと」	9
2. ライセンスを受けた商品の販売方法	11
(2-1) 「ASPを利用した販売」と「WEBサイト上で直接販売」	11
(2-2) 「ASPなどの販売サイトを利用して販売する」	13
(2-3) 「WEBサイト上で直接販売」	18
3. 販売ライセンスのご購入とライセンス証発行	24
(3-1) 販売ライセンスのご購入方法	24
(3-1-1) 【1】「個別ライセンス制商品の商品本体をご購入」	24
(3-1-2) 【2】「商品本体に付属のライセンス証からLKオーダーページに移動」	25
(3-1-3) 【3】「オーダーページよりご購入」	26
(3-2) 「ライセンス証の取得」	28
4. 販売ライセンス取扱い事業者（エージェント）に関して	30
(4-1) 「販売ライセンス取扱い事業者（エージェント）とは？」	30
(4-2) 「エージェント・バックヤードの機能」	31
5. 「エージェントとしてのシステム利用準備」	32
(5-1) paypal ビジネスアカウントの作成	33
(5-2) paypal マイアカウントでの設定変更	35
(5-2-1) 「ウェブペイメントの設定」	35
(5-2-2) 「言語のエンコード設定」	37

1. 個別ライセンス制度

(1-1) 個別ライセンス制商品とは？

個別ライセンス制商品とは、そのダウンロード商品をお求めいただいたお客さまご自身が、「販売ライセンス」を取得（＝個別ライセンス制）されることにより、第三者に対して商品データの販売を行うことを許可（ライセンス）している製品です。

従来このような「販売ライセンス」が与えられた商品は、一般的には「再販権利権利つき製品」「リセールライト製品」などといった名称・呼称で販売されています。

ただし、現在広く流通している一般的な「再販権利つき製品」「リセールライト製品」には、最初から「販売ライセンス」…つまり「販売（再販、転売）許可」が付属しているものが殆ど（＝ライセンス付属制）ですが、この個別ライセンス制商品は「製品（商品データ）」と「販売ライセンス（再販、転売許可）」が独立して存在しており、「製品（商品データ）」のみをお求めいただいても「販売ライセンス（再販、転売許可）」が付属していないため、そのままではお求めいただいた商品データを販売用途（再販、転売、リセール）にはご利用いただけません。

お求めいただいた商品データを販売用途（再販、転売、リセール）にご利用いただくには、別途「ライセンスキット」をお求めいただく必要がございます。

これまでの「販売権利つき商品」「リセールライト商品」は、商品そのものの内容が優れていたとしても、

- ・「マネーゲームの道具ではないのか？」
- ・「販売権利がメインで、中身は薄いのではないか？」

といったネガティブなイメージを持たれる方も多く、折角興味をそそられる内容であるにもかかわらず購入を躊躇される方もおられました。

また、

「商品本体には強く興味を惹かれるが、販売権利が付くせいで割高なのではないか？」

という「割高な印象」をお持ちの方も少なからずおられ、「販売権利はいらないから安くできなにか？」といったご要望も少なからずありました。

そこで、「販売用途」「純粋な個人用途」…そのいずれの需要も満たすことを目的に設定させていただいたのが、この「個別ライセンス制商品」です。

商品本体と販売ライセンスを独立させることにより、次のようなメリットが生まれます。

- ・ 個人のお客さまは、個人使用目的のみに限定し、安心して安く商品を購入できます。
- ・ 販売者の皆さまは、価格競争力の高い、低価格な商品を販売できるようになります。
- ・ 制作者の皆さまは、より安い商品から、より安定した収益を得るようになるでしょう。
- ・ ライセンスキット販売者（エージェント）の皆さまは、文字通り権利的なで収益を期待できるようになります。

デジタル商品の価格を、より安く、お求め易く…お客さまにとってお求め易い商品は、即ち 販売者の皆さまにおける新規顧客獲得チャンスを大幅に増加させる可能性を秘めています。

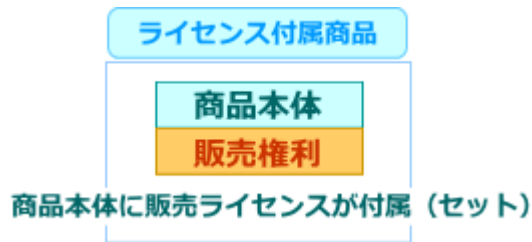
販売者の皆さまは、価格競争力の高い低価格商品の市場投入により、高額なバックエンド商品や高額なアフィリエイト商品の販売機会増大に繋げることも可能でしょう。

また、制作者側の立場では、市場が求める低廉な価格帯の商品開発と利益増大という、背反二律にも見える難問解決の糸口になり得ます。

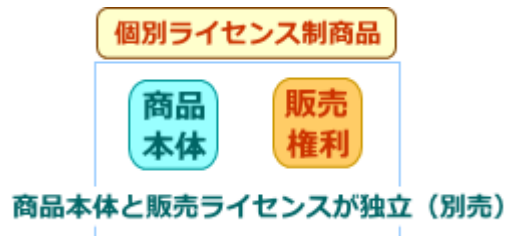
全ての皆さまにとって、「プラス」に…その想いを込めて、この「個別ライセンス制商品」というオプションをご用意させていただきました。

(1-2) ライセンスキット (LK)、販売ライセンス証とは？

一般的な「販売権利つき商品」「リセールライト商品」は、**文字通り販売ライセンス（許可）が最初からセットになった商品**です。



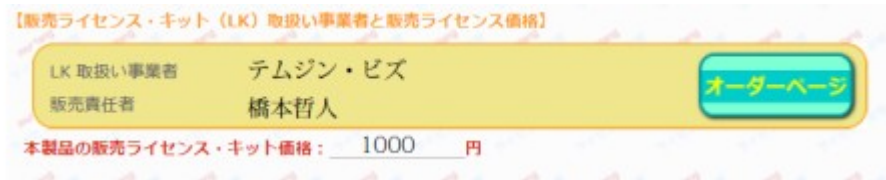
これに対し、「個別ライセンス制商品」では、**販売ライセンス（許可）が「商品本体」と独立して存在（別売）します。**



「個別ライセンス制商品」では、商品を販売用途にご活用いただく際、商品本体とは別に、その商品に対する販売権利（ライセンスキット）をお求めいただく形となります。

この販売権利（許可）は、「ライセンスキット (LK)」の名称で販売されており、「個別ライセンス制」を採用した商品をお求めいただいた際に商品本体に同梱されているライセンス証 (licence.pdf) の最下部にあります「オーダーページ」ボタンをクリックすることで、イ

インターネット上の「ライセンスキット」注文ページにアクセスできます。

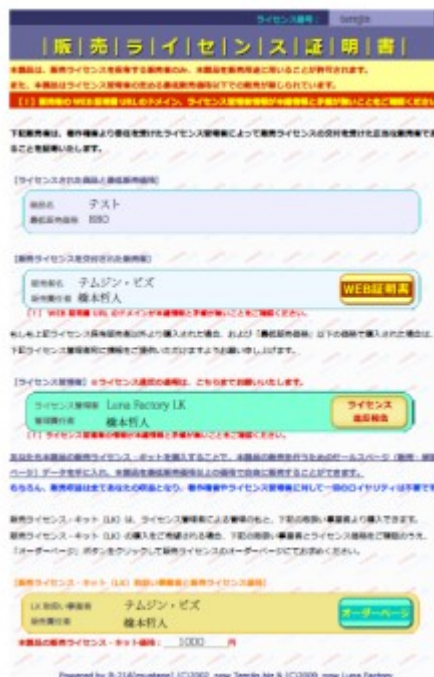


「ライセンスキット」は【販売ライセンス証】と【付属ファイル】のセットです。

そして、販売ライセンス証は、固有のシリアルナンバーを持つPDFファイルです。

(ファイル名は licence.pdf になります)

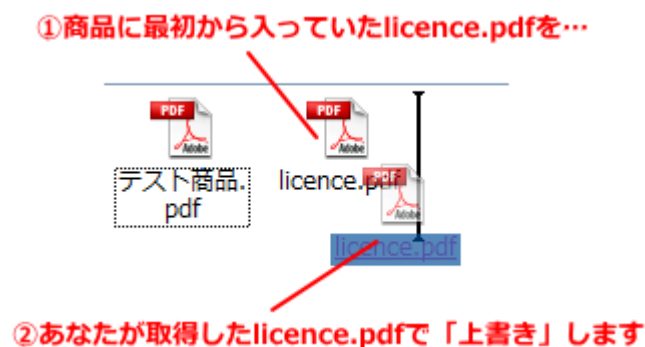
■あなたがその商品を販売することを許可する「販売ライセンス証 (licence.php)」



見本

発行される販売ライセンス証 (licence.pdf) には、あなたのお名前や事業者名が記載されており、あなたが正式にその商品の販売ライセンスを所有していることを証明します。

商品本体に最初から同梱されていた、あなた以外の人物の販売ライセンス証 (licence.pdf) を、あなたの販売ライセンス証 (licence.pdf) に差替えるだけで、その商品はあなたが自由に販売できるようになります。



販売ライセンス証をあなたのものに差替えたら、

「セールスページデータ」 (※ライセンスキットの付属ファイルに含まれている場合。商品によって付属しない場合もあります) を元にしてあなたが販売ライセンスを取得した商品を販売するための準備を行ってください。

(1-3) ライセンス取得によって「できること」「できないこと」

個別ライセンス制商品では、ライセンスキットをお求めいただくことで販売ライセンスを取得でき、販売ライセンスを取得した商品に関しては次のような内容が許可されます。

- 「**付属ファイルのセールスページ (※)** を自らのWEBサイト等で利用できます」
- 「**付属ファイルのセールスページのデータ (※)** を常識の範囲内で改変できます」

(※常識の範囲外…過度な表現の自粛、事実に基づかない虚偽の表現の追加など)

- 「販売ライセンスによりライセンスされた商品の販売を許可します」
- 「ライセンス商品を、希望最低価格以上の「他の商品」の購入特典に使用できます」

(※希望最低価格以上の実売価格の商品に、特典として無償で付属させることができます)

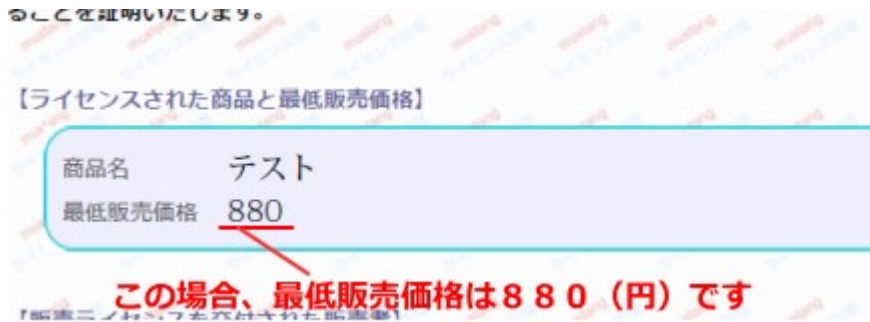
- 「同じく、希望最低価格以上のアフィリエイト特典に使用できます」

(※最低価格以上の実売価格のアフィリエイト商品の特典として使用できます)

(※) セールスページデータは商品によって付属しない場合もあります。

ただし、販売をライセンス（許可）された商品には、それぞれ「希望最低販売価格」が設けられており、著作権者はこの「希望最低販売価格」以上の価格でお取扱いいただくことを条件に販売ライセンス交付を許諾しています。

「希望最低販売価格」は、ライセンス証 (licence.pdf) に明記されています。



また、例え販売ライセンスを取得された場合でも、下記に該当する行為は禁止とさせていただきます。

- × 「ライセンスされた商品の販売に際して、希望最低販売価格以下で販売する行為」
- × 「販売に際してあらゆる迷惑行為（スパム行為、迷惑メールなど）は禁止」
- × 「他の販売者、著作権者、システム受益者全ての利害を害する恐れのある行為」

また、一般的な「販売（再販・転売）権利つき商品」「マスターリセールライト商品」には商品そのものの販売ライセンスが付属しているため、「販売ライセンス」そのものもあなたが自由に販売（＝商品と一体になっているため、自動的にライセンス込みで販売）することができますが、

個別ライセンス制商品では、販売ライセンス込みで販売することができず、

結果的にあなたはライセンスキット（販売ライセンス）を販売することができません。

販売ライセンス自体の販売は、ライセンス販売の委任を受けた「ライセンスキット取扱い事業者（エージェント）」のみ販売を行うことができます。

2. ライセンスを受けた商品の販売方法

(2-1) 「ASPを利用した販売」と「WEBサイト上で直接販売」

ライセンスキットを購入し、販売ライセンスを取得された商品（以下「ライセンス商品」）は、前項でご説明させていただいた注意点（希望最低販売価格など）など最低限のガイドラインさえ満たしていただければ、自由に販売していただくことが可能です。

また、

ライセンス商品を販売したことによって得られた売り上げは、

100%あなたの収益となり、

著作権者に対して一切のロイヤリティ支払い義務はありません。

仮に希望最低販売価格1,000円の商品を実売価格2,000円で5点販売し、結果的にあなたが10,000円の売り上げを得たとした場合でも、

その全額である10,000円が、全てあなたの収益となります。

この点は、一般的な「販売（再販・転売）権利つき商品」や「リセールライト商品」と全く変わりません。

その販売方法も、一般的な「販売（再販・転売）権利つき商品」「リセールライト商品」と全く変わりません。

販売方法は大きく分けると、

(A) 「ASP などの販売サイトにライセンス商品を登録して販売」

(B) 「あなたの WEB サイト上で販売」

上記二種類の販売方法があります。

単純に「みんなが使っているから」という単純な動機だけで安易に決めず、それぞれの持つメリットとデメリットを見極め、あなたの考え方や現在のスキルを考慮して最適と判断できる方法を選択されることをお勧めいたします。

とはいえ、あなた自身がお自分の WEB サイト上から直接販売を行う場合 (B)には、多くのクリアしなければならない問題があります。

- ・ **お客さまから注文を受け取る仕組みを構築する必要があります**
- ・ **お客さまが決済を行うための決済手段を用意する必要があります**
- ・ **お取引完了後、お客さまに商品データをお届け（納品）する必要があります**
- ・ **これらに関する解説（「お取引ガイド」等）を用意する必要があります**
- ・ **「注文確認」「商品納品」など、幾つかのメール文章を用意する必要があります**

特に初心者の方がこうした準備を行う場合、とても大きな労力と準備の時間が必要です。

その分、ASP などの販売サイトにライセンス商品を登録して販売する場合 (A)と比較するとより大きな利幅が期待できるともいえますが…[もしもあなたがこれから初めてインターネット](#)

[上で販売を開始するのであれば、まずは ASP 等の販売サイトを利用するのが近道です。](#)

(2-2) 「ASPなどの販売サイトを利用して販売する」

【メリット】

- ・自分で販売するための仕組みを持たなくても販売できる
- ・「受注」「決済」「納品」は販売サイトが自動で処理してくれる
- ・宣伝や集客も販売サイトが代行してくれる

【デメリット】

- ・一般的に手数料が割高であることが多い（売上げの8～10%前後）
- ・売上げの現金化には30～60日程度かかる場合がある
- ・何でも自動でやってくれるように見えて、実はほったらかしでは売れない
- ・販売サイト側の審査により販売停止になってしまうこともある

ASPなどの販売サイトを利用すれば、自分で販売する仕組み（注文フォームやクレジットカード決済などの決済方法準備など）を持たなくても手軽にライセンス商品の販売を開始することができ、かつ「**受注（=注文の受付）**」「**決済（=商品代金の回収）**」「**納品（=お客様に商品ファイルをお届け）**」**全ての作業を自動で処理**してくれます。

更に、どんなビジネスでも「宣伝・集客」は非常に重要な要素なのですが、ASPなどの販売サイトを上手く利用できれば、アフィリエイトの仕組みによりこの点も解決できます。

もしもあなたがこれから初めて販売を開始するのであれば、間違いなく「自分のWEBサイトで販売する」よりも、ASP等の販売サイトを利用する方が近道となります。

ASPとは「アフィリエイト・サービス・プロバイダ」の略です。

一般的な「情報商材」「各種データ販売」「販売（再販・転売）権利つき商品」「リセールライト商品」、そしてLuna Factoryの個別ライセンス制商品は、全てデータを販売する形になります。

このようにデータを販売するビジネス形態は一般的に「ダウンロード販売」と呼ばれます。

※具体的なASP名とURLのご紹介は意図的に自粛させていただきます。

ASP等の販売サイトを利用して販売を行う場合、最短で次のようなステップで販売を開始できます。

- (1) ASP等の販売サイトに登録する**
- (2) 商品データとセールページを用意する**
- (3) ASP等の販売サイトで商品登録を行う**

もちろん、どのASPでもこの3ステップだけで販売が開始できるとは限らず、これらの3ステップは標準的なASPを想定したモデルです。

実際のご利用に際しては、必ず利用するASP側の指示に従って準備を行ってください。

ライセンス商品をASPで販売される場合、先ほどの3ステップの(2)では、それぞれ次のようにして販売準備を整えます。

【商品データの準備】

既にお持ちのライセンス商品に最初から付属していたライセンス証（＝販売者名が他人名義の licence.pdf）をあなたが取得したライセンス証（licence.pdf）に差替え、ASP側が指定する形式のデータ圧縮を施します。

なお、データ圧縮には専用の「アーカイバー」というソフトを使用します。

もしもアーカイバーをお持ちでなければ、[こちら](#)のフリーソフトがお勧めです。

【セールスページの準備】

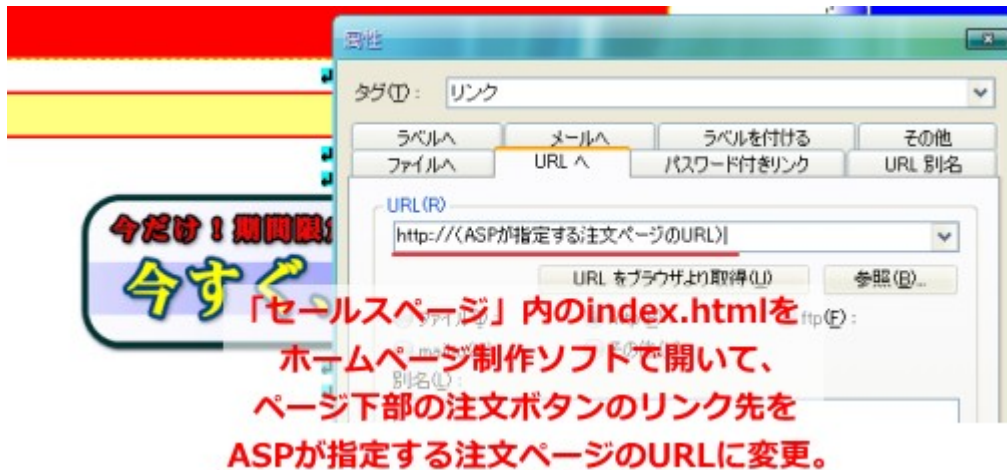
セールスページとは、あなたがライセンス商品本体をお求めになられた際にご覧いただいたような、「注文ボタンつきの商品説明ページ」のことです。

商品によっては、「ライセンスキット」などの形で、このセールスページのデータ（材料）が入っています。

このセールスページデータをお使いのホームページ作成ソフトで編集し、あなたがお使いのサーバ（レンタルサーバ等）にアップロード（公開）することで、ASPの求めるセールスページを準備できます。

（ASPによってはセールスページを別途お使いのサーバに公開する必要はありません）

ASPを利用される際、セールスページの準備で留意されるべき点は、「**注文ボタンのリンク先を、ASPが指定する注文ページのURLに指定する**」ことくらいです。



このように、ASP を利用する場合、非常に手軽に販売を開始することができます。

また、実際に販売が開始された後も、「受注」「決済」「納品」を自動で処理してくれるため、理論上は「後はASPから売り上げが入金されるのを待つだけ」ということになるのですが…実際にはASPに登録しただけではなかなか商品が売れません。

ASP が手軽で便利なのは非常に喜ばしいことなのですが、それだけ利用者…つまりライバルも多いということがいえます。

ASPとは、その名（アフィリエイト・サービス・プロバイダ）が示すとおり、ASPに登録しているアフィリエイトの皆さんがあなたの商品（ライセンス商品）を宣伝してくれるからこそ売り上げが期待できるという構図になっているのですが、ライバル（=ASP利用者）が非常に多い現状では、**あなたが登録した商品をアフィリエイトの皆さんに「見つけてもらう」ことから考慮しなければなりません。**

このため、昨今のASPでは「アフィリエイトの皆さんへの広告」（＝アフィリエイトの皆さんに商品を取り扱っていただくべく広告を行う）を盛んに販売しているところも決して少なくありません。

しかし、「**広告**」は要領を得てから投資してこそ、それに見合う投資効果が得られるものです…ご自身でこうした広告投資を行われる前に、実際に他の方がどんな広告を出稿しているのか良くご覧になり、研究されることをお勧めします。

あなたをご覧になって「グッとくる」広告には、どんな仕掛けが隠されているのでしょうか？

どういった商品が

アフィリエイトの皆さんに取り扱っていただきやすいのか？

このテーマと正面から向き合うことこそが、ASPでの販売を増やすための基礎ともいえるでしょう。

(2-3) 「WEB サイト上で直接販売」

【メリット】

- ・ 販売手数料などの中間マージンをカットし、ダイレクトに利益が得られる
- ・ 売上げの現金化は「即日～」
- ・ 第三者の審査を受けず、基本的に自由に販売できる
- ・ 独自販売ルートのため、例えば「ASP サービス閉鎖」などのリスクを回避できる

【デメリット】

- ・ 自前で「受注」「決済」「納品」の仕組みを準備しなければならない
- ・ 当然、宣伝や集客も全て自力で行わなければならない

ASP などの販売サイトに頼らず、自前の WEB サイトから「受注」「決済」「納品」までを一貫して行う方法で、準備の手間はかなり大きなものになります。

例えば ASP では当たり前のように用意されているクレジットカード決済への対応一つ取っても、自分でクレジットカード決済業者さんと契約して対応していかなければなりません。

しかし、例えば ASP に頼った販売方法の場合には、その ASP が何らかの事情でサービス終了になってしまった場合など、あなたは不可抗力的に販売ルートを失ってしまうことになり、

これは事業的に見た際、壊滅的なダメージを受けてしまいます。

これから販売を始める初心者の方にとって「自分の WEB サイトで直接販売 (= 直販体制)」

を行える体制を整えるのは非常に大変なことです。既に ASP に商品を登録してある程度のお客さまと収益を得ておられるのであれば、「転ばぬ先の杖」としても、直販体制の構築は強くお勧めいたします。

直販体制の最大のデメリットは、その準備の手間もさることながら、やはり「**集客**」面です。

ASP を介した販売の場合、ASP が提供するアフィリエイト網を上手く機能・活性化させることができれば、一定以上の集客効果を期待できます。

しかし、直販体制での販売の場合、基本的にアフィリエイトの協力が得られませんので、あなたとあなたの WEB サイト自身の集客力に頼る他ありません。

…つまり、あなたの WEB サイトに訪れるビジター（＝訪問者）の数が少なく、あなた自身にインターネット上での集客ノウハウ・集客原資（＝ニュースレター、ブログなど）が無い場合、集客力は殆ど期待できません。

「集客が期待できない」＝「殆どアクセスが無い」

という状況は、即ち収益も積極的に期待できなくなります。

しかし、逆に **ASP で一定のお客さまと収益を獲得していれば、あなたには「顧客リスト」という貴重な集客原資が存在することになります。**

この場合、取引ごとに割高な手数料を ASP に支払いながら既存のお客さまに商品をお勧めするよりも、むしろ直販体制を構築し、ASP を介さずあなたの WEB サイトから直接お買い物していただければ…それだけ利益率は高くなり、結果的にあなたが手にするキャッシュ（＝現

金)は増えます。

なお、確かに直販体制の構築には「受注」「決済」「納品」に関する独自のインフラを確保する必要がありますが、**システム(=スクリプト)を導入することにより、これらを一挙に解決し、短期間のうちに直販体制を構築することも可能になります。**

このライセンス管理・販売システムの開発元である『テムジン』では、その一つの回答として「モスピーツ」シリーズというダウンロード自動販売体制構築を目的としたWEBシステムを用意しています。

【参考】：「mosP2 特設サイト」

<http://mosp2.temjin.biz/>

「モスピーツ」には無償版のFreeパッケージ、実質無償の高機能モデル「モスピーツ-Me」がございますので、直販体制構築にご関心をお持ちいただけましたら、上記特設サイトにアクセスのうえ、無償版をお試しく下さい。

(無償版には試用期限等の期限制限もありません。)

また、「モスピーツ」以外にも、システム開発各社さまより様々な素晴らしい同種スクリプトが発売されていますので、この機会にお探しになってみてください。

「ASP+直販体制」の二本柱は、あなたの事業を更に安定化させることです。

例えば mosP2 シリーズを使用して直販体制を構築・販売を行う場合、最短で次のようなステップで販売を開始できます。

(1) 「モスピーター」をお使いのサーバに設置する

(2) 商品データとセールページを用意する

(3) 「モスピーター」の管理画面で商品登録を行う

もちろん、どのシステムでもこの3ステップだけで販売を開始できるとは限らず、これらの3ステップは「モスピーター」シリーズを想定したモデルです。

実際のご利用に際しては、必ずご使用になるシステムの指示に従って準備を行ってください。

(1) 「モスピーターをお使いのサーバに設置する」に関する詳細は、「モスピーター」シリーズに付属の「簡易取扱い説明書.pdf」をご参照ください。

(なお、有償版をご検討の場合、必ず事前に無償版にて設置・動作をご確認ください)

基本的には、

1. 構成ファイルをサーバにアップロード

2. 幾つかのディレクトリに関してパーミッション変更

3. インストールプログラムを起動

上記3つのステップで設置が完了します。

(2) 「商品データとセールスページを用意する」に関しては、それぞれ次のように準備を行います。

【商品データの準備】

既にお持ちのライセンス商品に最初から付属していたライセンス証 (= 販売者名が他人名義の licence.pdf) をあなたが取得したライセンス証 (licence.pdf) に差替え、.zip 形式ファイルに圧縮加工 (「モスピーツ」シリーズ共通) します。

なお、データ圧縮加工には専用の「アーカイバー」というソフトを使用します。

もしもアーカイバーをお持ちでなければ、[こちら](#) のフリーソフトがお勧めです。

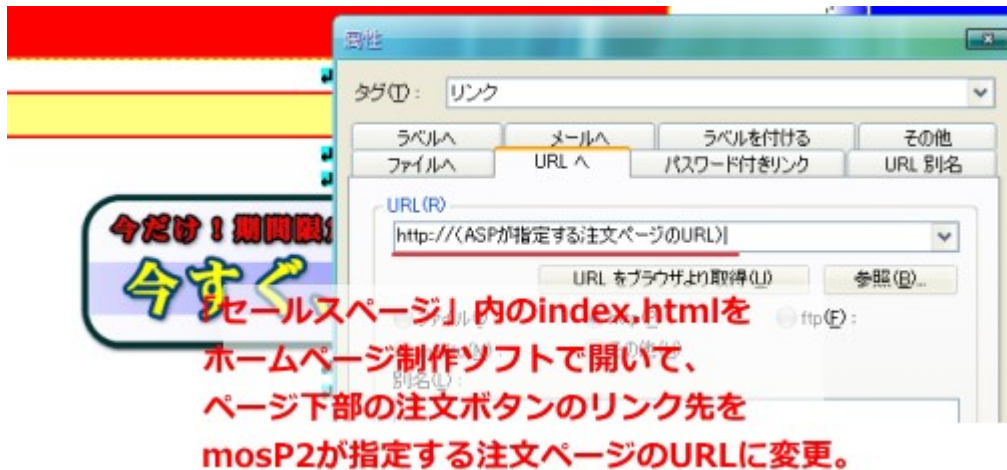
【セールスページの準備】

セールスページとは、あなたがライセンス商品本体をお求めになられた際にご覧いただいたような、「注文ボタンつきの商品説明ページ」のことです。

商品によっては、「ライセンスキット」などの形で、このセールスページのデータ (材料) が入っています。

このセールスページデータをお使いのホームページ作成ソフトで編集し、あなたがお使いのサーバ (レンタルサーバ等) にアップロード (公開) することで、セールスページを準備できます。

「モスピーター」シリーズを利用される際、セールスページの準備で留意されるべき点は、「**注文ボタンのリンク先を、mosP2 が指定する注文ページの URL に指定する**」ことくらいです。



なお、「注文ページのURL」は、「モスピーター」の管理画面から「新規商品の登録」を行うと、自動的に注文ページのURLが発行されますので、このURLを指定します。

(3) 「モスピーターの管理画面で新規商品登録を行う」に関しても、詳細についてはモスピーター各パッケージに付属の「簡易取扱い説明書.pdf」をご覧ください。

例えばモスピーターを使用した場合、このように殆どASPを介して販売する場合と変わらない感覚で準備でき、また、ASPのように「受注」「決済」「納品」全てのフェイズをあなたに代わって自動処理してくれます。

(ただし、完全自動処理できるのは商品購入者さまがクレジットカード決済 (paypal) を選択された場合のみで、「銀行振込決済」をご選択の場合は入金確認作業が発生します)

3. ライセンスキットのご購入とライセンス証発行

(3-1) ライセンスキットのご購入方法

あなたが個別ライセンス制商品をお取扱いになりたい場合、次の手順でライセンスキットをお求めください。

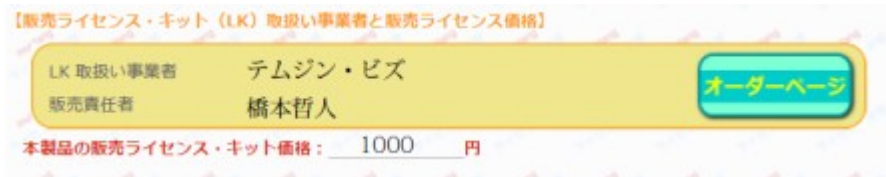
- 【1】「個別ライセンス制商品の商品本体（=販売する商品）をご購入」
- 【2】「商品本体に付属のライセンス証からライセンスキットのオーダーページに移動」
- 【3】「オーダーページよりご購入」

(3-1-1) 【1】「個別ライセンス制商品の商品本体をご購入」

まずはお取扱い（=あなた自身がライセンスを受けて販売）を希望される個別ライセンス制商品の**商品本体をお求めください**。

(3-1-2) 【2】「商品本体に付属のライセンス証から LK オーダーページに移動」

お取扱いを希望される個別ライセンス制商品の商品本体をお求めいただいた後、**商品に同梱**されている「**ライセンス証 (licence.pdf)**」を開いてください。



ライセンス証の最下部には、その個別ライセンス制商品における

- ・ **ライセンスキット取扱い事業者名 (エージェント)**
- ・ **販売責任者名**
- ・ **当該商品におけるライセンスキットの価格**

上記三点の情報が記載されており、右側の「オーダーページ」ボタンをクリックすることで、インターネット上のライセンスキット注文ページに移動できます。

(3-1-3) 【3】「オーダーページよりご購入」

ライセンスキットが、あなたがお取扱いを希望する商品に対するものであること、また、提示された価格がライセンス証 (licence.pdf) に記載された価格と同額であることを**ご確認のうえ、クレジットカード決済 (paypal) でのご購入お手続きをお願いいたします。**

お取引はライセンスキット取扱い事業者 (エージェント) との直接取引となります。

なお、ライセンスキットのお求めに際して、下記事項にご留意ください。

- 1. 必ずご本人さまが直接ご購入お手続きを行ってください。**
- 2. 必ずご本人名義のクレジットカードにてご決済ください。**
- 3. paypal ビジネスアカウントをお持ちの場合、
ライセンス証に記載されるあなたのお名前が
英字表示となる場合があります。**

発行されるライセンス証は、ご決済の際にご使用になられたクレジットカードの名義者ご本人さま名義となります。

もしもご本人以外の名義のクレジットカードでご決済いただいた場合、発行されるライセンス証の名義はクレジットカードの名義人さまとなります。

あなたがライセンス商品を販売される際、**特定商取引法に基づく表示に表示されるあなたのお名前とライセンス証の名義が異なる場合、お客さまよりライセンス違反の通報が行われる可能性があります。**

お客さまの通報が事実であると確認された場合、当該ライセンスの権利凍結を行う場合がございますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

max さま

このたびはライセンス商品に関する当店ではじめてのお取引、誠にありがとうございます。

当店では、ブラウザ上でいつでも商品のダウンロードを行っていただくことのできる「マイページ」機能をご用意させていただいております。

下記に max さま専用のマイページへのログイン情報をご案内させていただきますので、是非ともご活用くださいませ。

【マイページへのログイン情報】

[ユーザ名] : ██████████

[パスワード]: ██████████

マイページURL <http://www.papma.net/b21a/my.php>

もしもこのメールにお心当たりがございませんでしたら、恐れ入りますか
てご迷惑をいけませんようお願いいたします。

「マイページ」にアクセス後、まずは「パスワード変更」をクリックして、マイページのパスワード変更と「事業者名登録」を行ってください。

ここで登録された「事業者名」は、これから発行されるあなたのライセンス証 (licence.pdf) 及び WEB 証明書にて、あなたの事業者名として表示されます。

[「\(存在する場合\) セールスページデータ」と「ライセンス証 \(licence.pdf\)」のダウンロードは、「マイページ」メニューの「ご購入履歴の確認」から行うことができます。](#)

表示されるご購入履歴の中にお求めいただいた販売ライセンスが含まれますので、ご選択のうえダウンロードページに移動してください。

なお、「セールスページデータ」等の付属ファイルにはダウンロード制限（30日間・5回まで）がありますが、ライセンス証はダウンロード残回数があれば何度でも再発行できます。

4. ライセンスキット取扱い事業者（エージェント）

（4-1）「ライセンスキット取扱い事業者（エージェント）とは？」

「ライセンスキット取扱い事業者（以下「エージェント）」は、著作権者、またはライセンス管理者よりライセンスキットの販売を委託された事業者です。

全てのライセンスキットはエージェントによって販売されます。

（著作権者やライセンス管理者がエージェントを兼ねる場合もあります）

エージェントになる資格や条件、方法に関してはシステム運用者にご照会ください。

また、エージェントはライセンス商品の販売者（リセラー）を兼ねており、**当該エージェントが販売したライセンスキットのライセンス証は、何世代先のライセンス証であっても当該エージェントのまま販売者は不変であり、すべてのライセンスキットの販売は当該エージェントが取引を担当することになります。**

（ライセンスキットの売り上げは、全て当該エージェントの収益となります）

例えばエージェントAからライセンスキットを購入したB氏が存在します。

B氏からライセンス商品を購入したC氏が、B氏のライセンス証経由でライセンスキットを購入する場合、このお取引はエージェントAが担当することになります。

同じくC氏からライセンス商品を購入したD氏が、C氏のライセンス証経由でライセンスキットを購入する場合も、このお取引の担当はエージェントAであり、**これは何世代先のお取引でも変わることはありません。**

(4-2) 「エージェント・バックヤードの機能」

エージェントの指定を受けると、「エージェント・バックヤード」にログインするためのIDとパスワードが発行されます。

エージェント・バックヤードでは、次の内容が確認・実行できます。

- (1) サマリー (担当する直近10件のライセンス販売状況の表示)
- (2) 決済データ検索/決済データ一覧 (担当する全てのライセンス販売状況の確認)
- (3) ライセンスキット一覧 (全てのライセンス証と付属ファイルを無料取得できます)

ライセンスキットの販売はクレジットカード決済 (paypal) により自動的に処理されるため、日常業務的には必要に応じて確認作業を行うのみとなります。

(基本的にお客さまからのコンタクトはシステム運用者に直送されます)

新規ライセンス商品を取得した際は、「ライセンスキット一覧」より販売ライセンス (ライセンス証と、存在する場合は付属ファイル) を取得 (無料) のうえ、本書「2. ライセンスを受けた商品の販売方法」をご参考にライセンス商品の販売を開始してください。

ご自身がエージェントとしてライセンスキット販売を担当するライセンス証が普及する程収益が期待できますが、その第一歩はご自身によるライセンス対象商品の販売です。

5. 「エージェントとしてのシステム利用準備」

個別ライセンス制商品はライセンス管理システムとしてマスタング（MB-01）というシステムを使用しています。

エージェントとしてライセンスキットを取り扱う場合、このマスタングを通したライセンスキットの全自動販売を行うこととなりますが、マスタングでライセンスキットを自動販売するためには、事前に下記のような準備が必要となります。

（1）paypal ビジネスアカウントの作成

（2）paypal マイアカウントでの設定変更

まず、paypal にビジネスアカウントを作成（1）し、事業者（販売者）としてクレジットカード決済による販売を行うことができるように準備する必要があります。

その後、マスタングとあなたの paypal アカウントを連動させるために paypal マイアカウントにていくつかの設定を行います（2）。

これで、準備は完了です。

(5-1) paypal ビジネスアカウントの作成

まずはPaypalにてアカウントの作成（無料）を行います。

paypalのアカウントを作成しただけでは事業者としてクレジットカード決済を取り扱うことはできませんが、事業者としてクレジットカード決済を取り扱うことが可能になる「ビジネスアカウント」を取得する前段階として、まずはアカウントを作成する必要があります。

以下、paypalのWEBサイトから新規アカウント作成の導入部分までをご案内させていただきますが、これらはあくまで本解説書制作時の内容になります。

現在はpaypal側の変更などにより、内容に変化がある場合も考えられます。

必ずpaypalWEBサイト側の解説・指示を優先していただけますようお願い申し上げます。

アカウントの作成は無料で、paypalのWEBサイトから容易に作成できます。

まずはpaypalのWEBサイトにアクセスします。

[【リンク】「paypalWEBサイト」](#)



paypalのWEBサイトにアクセスしたら、図の赤丸で囲んだ部分にある「新規登録」ボタンをクリックします。

続いて「paypal アカウントの作成」画面が表示されますので、

- ・ 「国または地域」
- ・ 「言語」

ともに「日本」になっていることを確認し、アカウントの種類は「ビジネス」を作成する必要がありますので「ビジネス」の「開始」をクリックします。

PayPal アカウントの作成 安全

国または地域
日本

言語
海外取引をお考えの場合は、英語で新規登録してください。
日本語 (Japanese)

すでに PayPal アカウントをお持ちですか? [今すぐアップグレードしてください。](#)

パーソナル

オンラインで買い物をする個人のお客様向け

[開始](#)

プレミア

オンラインで売買をする個人のお客様向け

[開始](#)

ビジネス

会社名またはグループ名を使用するマーチャントのお客様向け

[開始](#)

「ビジネス」をクリックします

続いて登録情報を入力する画面、入力確認と続き、ビジネスアカウントが作成されます。

PayPal

アカウントタイプの選択 → 情報の入力 → 確認 → 完了

アカウントの登録 安全な取引

ビジネスアカウント

* 必須

別途指定がない場合、日本語または英語を使用できます。日本語のテキストには全角文字を使用してください。英語のテキストおよび数字には半角文字を使用してください。

事業情報

*事業名:

(5-2) paypalマイアアカウントでの設定変更

ビジネスアカウントが作成されたら、次にpaypalの決済サービスとマスタングを連動させるためにpaypalマイアアカウントにて次の設定を変更します。

(5-2-1) 「ウェブペイメントの設定」

(5-2-2) 「言語エンコード設定」

(5-2-1) 「ウェブペイメントの設定」

本システムは、paypalマイアアカウントの「注文ボタン作成」機能を経ずに、システムに登録された商品情報を元に独自にpaypal注文ボタンを作成します。

このため、paypalマイアアカウントの「ウェブペイメントの設定」にて「暗号化されていないウェブペイメントの受領拒否」を「オフ」に設定していただく必要があります。

「ウェブペイメントの設定」は、次のように行います。

(1) paypalのWEBサイトにログインします

(参考: [ここ](#) をクリックするとpaypalのWEBサイトにジャンプします)

(2) 画面上部のナビゲーションメニューから「個人設定」をクリックします



(3) 「販売の設定」から「ウェブペイメントの設定」をクリックします

販売の設定

- [オークション](#)
- [消費税](#)
- [配送料の計算](#)
- [保存したボタン](#)
- [支払い受領設定](#)
- [即時支払い通知の設定](#)
- [評価ポイント](#)
- [カスタマーサービスに関するメッセージ](#)
- [ウェブペイメントの設定](#)** ココです
- [暗号化支払いの設定](#)

(4) 「暗号化ウェブペイメント」を設定します

画面中ほど（やや下）の「暗号化ウェブペイメント」の設定項目で、「暗号化されていないウェブペイメントの受領拒否」を「オフ」にします。

暗号化ウェブペイメント

暗号化を利用すると、第三者によってボタンコードのデータが操作される危険が減るため、安全性が高まります。暗号化されたボタンのみを使用すれば、暗号化されていないボタンによるリスクを回避できます。

暗号化ウェブペイメントの詳細について

注: 暗号化ウェブペイメントを有効にする場合、[今すぐ購入]ボタンや[購読]ボタンなどのすべてのボタンを暗号化することが必要です。

セキュリティ設定を有効にして [ボタンファクトリ](#) を利用する。

独自のコードを使用し、すべてのウェブペイメントを PayPal に送信する前に暗号化します。

この機能を有効にすれば、暗号化されていない [今すぐ購入] ボタンや [購読] ボタンは PayPal

暗号化されていないウェブペイメントの受領拒否: オン オフ ココです

これで、「ウェブペイメントの設定」は準備できました。

(5-2-2) 「言語のエンコード設定」

マスタングは、UTF-8 という文字コードを使って開発されたシステムです。

paypal 側から送られてくるデータの文字コードを、この「UTF-8」に合わせてあげないと、受け取ったデータが文字化けして表示されてしまい、同時にシステムの動作にも重大な支障を及ぼしかねません。

そこで、paypal 側から送信されるデータの文字コードを UTF-8 に合わせてもらう必要があります。

この、paypal 側から送信されるデータの文字コードを指定する準備が、「言語のエンコード」です。

以下の手順で準備を行ってください。

(1) paypal の WEB サイトにログインします

(参考: [ここ](#) をクリックすると paypal の WEB サイトにジャンプします)

(2) 画面上部のナビゲーションメニューから「個人設定」をクリックします



(3) 「販売の設定」から「言語のエンコード」をクリックします



(4) 「日本語」を選択し、「詳細設定」をクリックします

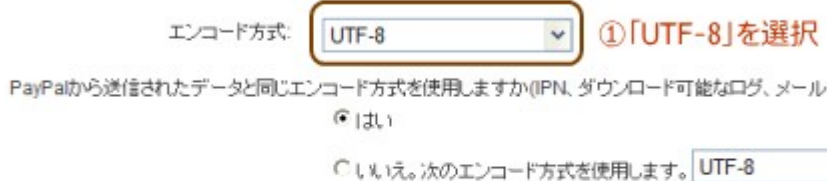
ユーザーを使用して、ウェブサイトで使用する言語を選択します。ウェブサイトの言語：
エンコード方式が決定されます。



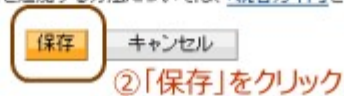
(5) エンコード方式を「UTF-8」に選択し、「保存」をクリックします

その他のエンコードオプション

次のドロップダウンメニューから、ウェブサイトで使用するエンコード方式を選択します。



ウェブサイト決済ボタンに複数の言語を追加する方法については、「[統合ガイド](#)」を参照してください。



以上で、paypal とマスタングを連動させるための準備は完了です。